



# 1月ゆめのはだより



2026年1月1日

謹賀新年 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年早々、雪が降り積もり、広がる銀世界に心がおどりましたね。今年は丙午(ひのえうま)、エネルギーが満ち溢れる年になると言われているようです。たくさんのエネルギーを吸収し、子どもたちと一緒にパワフルに過ごしていけたらと思います。

## 〈行事予定〉

月	日	曜	行事
1	5	月	保育始め
	14	水	ゆめのは広場(お話会)
	15	木	身体測定(乳児)
	16	金	身体測定(幼児)
	17	土	保護者交流会
	24	土	保護者交流会
2	3	火	節分会
	14	土	リズム発表会
	16	月	身体測定(乳児)
	17	火	身体測定(幼児)

1月のお弁当日…1/10(土)・1/24(土)  
保護者交流会・リズム発表会詳細は後日お知らせします

2025年度 クラス編成 2026.1月現在

クラス	園児数	クラス	園児数
どんぐり	12名	ほし	25名
つくし	8名	つき	24名
たけのこ	16名	にじ	25名
りす	25名	総園児数	135名

## 『こどもたちの未来を見据えて』

先月、あるクラスの保護者交流会で少し触れたのですが、子どもたちが社会に出る2050年には、日本の人口は1億人を下回り、15歳未満の人口は総人口の10%未満と予測されています。少子高齢化は想定以上の加速で、国の対策もむなしく、深刻な社会問題となっています。そのような時代を生き抜いていかなければならぬ子どもたちにとって、何が必要か、ユネスコは「再想像力」であり、人類が生き残るための具体的な戦略を、再想像力をもって考えなければならないと、言っています。危機を乗り越えるためには、従来の想像力では到底間に合いません。そして「再想像力」を育むためには、就学前から、完成を育む保育・芸術を通した教育が不可欠であるとも言っています。園としてできることは、やはり『あそびの質』を上げていくことだと再認識しました。みどりの森全体で、

『あそびにこだわり あそびこむ』を大切に、子どもたちの「再想像力」を育み、不確かな時代を生き抜いていける援助ができればと思います。



## ゆめのはエピソード⑤



### 『折り合いをつける』

夕方おへやをのぞいてみると、1歳児のAくんが「おやさいどうぞ」の絵本を手に、「よんで」と持ってきてくれました。読み始めると、近くで他の遊びをしていたBさんも側に来て、一緒に見ていきました。読み進めていくと、野菜の皮がペロッとめくれるしきけや野菜を切る「とんとんとん」「ザクザクザク」の時に、2人は言葉を交わすことなく、自然と交代しながら、しきけを楽しんだり、絵本の中の野菜に切るしぐさをしていました。少し前は、「自分の」「自分が」が強く、共有が難しいこともありましたが、今では、自然と順番に楽しむ姿に成長を感じました。

子どもたちは成長に合わせ、自分を抑制する力を見つけていきます。「はんぶんこ」「じゅんばん」は他の子と関わる時に必要な力です。日々、友だちと一緒に過ごす中で、葛藤を繰り返し「社会性」を育んでいるようです。

## 〈お知らせとお願い〉

- どんぐり組(0歳児)担任 松井美樹さんがご入籍されました。新姓:島本さんです。
- 産休 原田綾菜さんが、先月無事、ご出産されました。
- 朝の9時前後、駐車場が大変込み合っております。準備ができましたら、速やかに車にお戻りください。